

地域ごとの歴史や伝統、文化といった個性や特徴を生かしつつ、市民一人一人がまちづくりの主役となりながら積極的に市政に参画し、協働していくことで、新しい時代にふさわしい自治のまちづくりを進めます。

地域の個性がひかり輝く 自治と協働のまち 奥州市

1 めざすべき都市像

「基本構想」「基本計画」「実施計画」により構成される総合計画は、行政運営の総合的な指針となるもので、地域の将来像やなすべき施策などが記載された、市にとって最上位の計画です。市の抱える課題や市民のニーズに対応し、課題解決や実現について市民や議会と一定の約束をするものです。

計画策定に当たっては、市民憲章の理念の具現化、各種計画の包括、市民と行政の協働、実効性の担保、成果を評価できる計画という5点を

ポイントとしました。地方を取り巻く状況が著しく変化している今こそ、市民、地区振興会、企業、NPO、行政など地域社会を構成するさまざまな力を結集することが必要です。一人一人が誇れる地域づくりに向かって、未来を担う子どもたちが「大好き」と思えるふるさとを築き、次の世代に引き継いでいかなければなりません。10年後の奥州市を展望したこの総合計画で、誰もがここに住んで良かったと幸せを実感できるまちづくりを進めます。

市は、平成29年度から38年度の10年間のまちづくりの指針となる総合計画を策定しました。市民の皆さんから意見をいただき、ことし3月の市議会で審議された計画が、本年度からスタートします。ここでは皆さんに、総合計画のあらましをお知らせします。

■問い合わせ先 本庁政策企画課企画推進係（内線415）

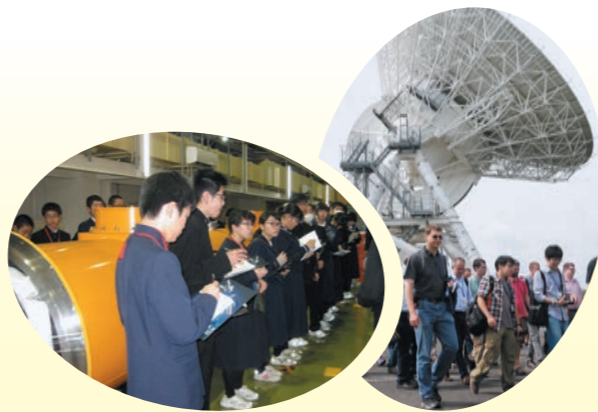
—今後10年間のまちづくりのために—

奥州市 総合計画

世界へ発信するまちづくりプロジェクト ～ILCプロジェクト～

ILCを積極的に施策に取り入れ、多彩な科学・技術・教育・産業を効果的に融合させ、次世代の人材の育成や新産業の創出を図ることによって、国際科学技術イノベーション拠点の実現に取り組みます。また、その実現に必要な文化、居住、就業、教育、保育、医療、交通などの充実を図ります。さらに、研究施設などの運用にあたっては、再生可能エネルギーによる循環型システムを構築し、自然の恵みを有効に活用するなど、持続可能な環境と共生したまちづくりを進めます。

【関連】奥州市ILCまちづくりビジョン（28年4月策定）



誇りと幸せを実感できるまちづくりプロジェクト ～人口プロジェクト～

市人口ビジョンに掲げる人口目標を達成するため、本市の観光資源と品質の高い農畜産物や工芸品を内外に発信するとともに、基幹産業である1次産業の基盤強化と企業誘致の促進による雇用環境の一層の充実、そして、起業の推奨による新産業の創出を図り、豊かな自然と快適な都市基盤が調和した生活利便性の高いまち、子育て環境に優れたまち、さらに、ふるさとに誇りを持ち、幸せを実感できるまちづくりを進めます。

【関連】奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略（28年3月策定）

■市人口ビジョンに掲げる人口目標

人口目標	2040年	2060年
	94,177人	80,160人
2030年までに社会増減「0」		
合計特殊出生率※	2020年	2040年
	1.7	2.07

※1人の女性が生涯に何人の子どもを産むかを表す数値

